

§2 市政・区政への参画

このコーナーでは、区民のみなさんに市政・区政へ参画していただいている取組を紹介します。

1. こどもの読書活動の支援 ～読書ボランティア活動～

子どもにとって読書とは、言葉を学び、表現力や創造力を豊かにするうえで欠くことができないもので、学力を高める有効な手段です。

そこで、淀川区は、区内小学生の学力向上をめざすため、「はぐくみ文庫」として小学校図書館に図書や本棚等を設置し、小学生の読書活動を支援しています。

そして、学校での読み語りや「はぐくみ文庫」等を通じ、本と子どもたちをつなぐ役割を担うのが、「[読書ボランティア](#)」です。➡



講師
田 淀川
野 明子
明子 図
館 長
館



➡
もらうことをめざした実践的な内容で、「子ども（聞き手）の顔を見ながらできるストーリーテリングに魅力を感じました!」や「意外と身近な材料で、簡単にポップが作れることがわかりました。」など、読書ボランティアの方自身も楽しんでいただけた様子で大変好評でした。さっそく、地域や学校で実践してみようと計画をされている方もあり、今後の読書ボランティア活動での活用が楽しみです。

今後も、淀川区役所では[淀川図書館](#)と連携して、学校や地域での読書活動を支援していきます。



興味を引くPOPの作品。



講師
イラストレーター
おがき ゆかさん

➡
児童ひとりひとりの興味や関心を高め、図書に親しむきっかけをつくり、読書習慣の形成を進めていきたいと考え取組んでいます。

今回、読書ボランティアの方々向けに、「おはなし（ストーリーテリング）入門編」や「本の修理方法」、「図書紹介 POP（ポップ）の作り方」などの研修を8回開催しました。

子どもたちに本を手にとってもらうためのきっかけをつくったり、読書の幅を広げて



本の修理の作業



おはなしの実演中。
みなさんとても楽しそうです。